

宮津山田達者会

(友愛活動)

必要とする人がいる限り続けたい



活動風景

独居高齢者の孤独死を含む老後への不安は常に付きまとい、やがて避けることのできない現実

「愛訪問活動」では、複数で訪問して安否の確認をしています。

剣に受け止め、配偶者の去り行く後の独居の不安を和らげ、「絶対に一人にさせない」との連帯意識が動機となり、困りごとの手助けや、訪問して相互扶助の精神で協力し合うことや、元気な人は、外に出て協力し活動する場を見つけるよう意識付けをし、地道に努力しながら活動を続けて5年余がたちました。

「友愛奉仕活動」では、元気な会員が（お助けマン活動）高齢者の日常生活支援を実施しています。包丁研ぎ、蛍光灯取替え・重い家具等の移動、不要品廃棄・簡単な大工仕事、水道水漏れ修理・日用品買い物代行等、「明日はわが身」そして「お互い様」の気持ちで、登録会員が協力し友愛活動を活発に行っています。

簡単な手芸・料理等を行って、多少頭を使い、手足を動かしたりしながら会話を楽しんで、閉じこもり予防しています。「友

活動はまだまだ試行錯誤しており、未熟な面もあります。しかし、友愛活動が必要としている仲間がいる限り、頑張っていることを誓っています。

おもな活動では「友愛お話し会」

の気持ちで、登録会員が協力し友愛活動を活発に行っています。

活動はまだまだ試行錯誤しており、未熟な面もあります。しかし、友愛活動が必要としている仲間がいる限り、頑張っていることを誓っています。

（会代表 高橋孝）

次回定例会

6月2日(木) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

☎ 48-1111
FAX 48-1711

議会事務局へ

編集後記

表紙は、本会議場での写真です。4年間の任期、最後の3月議会が終わったところです。

この3月議会開催中の11日に東日本で巨大地震が発生しました。今まで、当たり前のように生活していた姿が、一瞬のうちになくなる怖さを目の当たりにして、余りにも甚大で未曾有の被害に声を失う状況でした。

義援金を募ったり、物資や人員を送ったりする等、国を始め、各自治体や団体などでは、被災地に向けた支援の輪が広がっています。復旧までかなり時間がかかることが想定されるだけに、社会全体でこの非常時を支えていくことが大切です。

国民全員の総力を結集していきましよう。

また、私たち「議会だより編集特別委員会」メンバーは、この「だより」発行を最後に交代します。これまで、大変お世話になりました。ありがとうございました。

議会だより編集特別委員会

委員長 渡辺 功
副委員長 勝山 制
委員 竹内 松彦
委員 久保 秋男
委員 大村 文俊